

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会総則、大会要項、競技注意事項および申し合わせ事項によって行う。

## 2 競技場の使用について

- ウォームアップ場は補助競技場を原則とする。投てき種目の練習については、定められた場所（補助競技場の投てきピット）でのみ行い、係員の指示に従い、必ず顧問の立ち会いのもと行う。
- 全天候型グラウンドのため競技者は走高跳12mm以下、それ以外は9mm以下のスパイクを使用する。
- 医務員室は、本競技場1階医務室に設置する。AEDは本競技場エントランスホールにある。

## 3 招集・点呼について

- プログラムの訂正がある場合は、各県監督は、プログラム巻末綴込みにある「プログラム訂正用紙」に記入し、6日の7:30までに、大会総務へ提出すること。
- 招集所は、本競技場100mスタート付近倉庫内に設ける。
- 招集の手順
  - 競技者は招集完了時刻の5分前までに招集所に集合し、最終点呼を受ける。その際、アスリートビブスとスパイクシューズ、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場する。ただし、棒高跳びの招集は、棒高跳びピットで行う。
  - 招集時刻については、その開始時刻を基準とし下記のように定める。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mハートル 110mハートル 4×100mリレー	30分前	20分前
フィールド競技	走高跳 走幅跳 砲丸投	40分前	30分前
	棒高跳	70分前	60分前
四 種 競 技	200m 400m 100mハートル 110mハートル	30分前	20分前
	走高跳 砲丸投	40分前	30分前

- ③ 四種競技出場者は、最初の種目のみ招集所で競技者係の点呼を受けるが、以後の2種目からは、四種競技者待機所（スタート付近倉庫内）で点呼を受ける。
- 競技への出場をやむを得ず欠場する（四種競技の途中種目の棄権も含む）場合は、招集開始時刻までに、プログラム巻末綴込みにある「棄権届」をTICに提出する。
- 競技が遅れた場合でも、プログラム記載時刻通りに招集を完了する（時間厳守）。招集完了時刻に遅れた者は欠場とする。

## 4 競技運営について

- 予選におけるトラック競技の走路順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
- 計時方法は写真判定（1/1000秒）とする。
- タイムにより、決勝進出者を決めるときに同記録者があった場合、同記録者の1/1000秒の実時間を判定して進出者を決める。その結果、着差がない場合は、レーンに余裕があれば決勝に進出させる。レーンに余裕がない場合は、同記録者または代理人によって抽選を行う。（競技規則TR21）
- 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。リレー競技においては、バトン渡し終えた競技者は、他競技者への妨害を避けるため、走路が空くまで自分のレーンまたはゾーンにとどまる。
- リレーのオーダー用紙は、予選・決勝とも招集完了時刻の1時間前までに、TICに提出すること。決勝のオーダー用紙はTICにおいて配布する。
- リレー競技のマーカーの使用は1カ所とし、マーカーは競技者係で準備したものを使用する。使用したマーカーは、当該チームで処理する。
- フィールド競技の走幅跳・砲丸投は計測ラインを設けず、全記録を測定する。事情（天候その他特別な条件）により変更することもある（四種競技を含む）。
- 四種競技の男子砲丸投は、4.000kgで行う。
- 抗議申し立てについては、各県の総監督を通して、開催県中体連陸上競技部専門委員長に申し立てる。判定に不服がある場合は、正規の抗議申し立てをする。（競技規則TR8）
- フィールド競技でのコーチ等からの助言は、スタンドのコーチングエリアからのみとする。

## 5 競技方法

(1) 男女別団体対抗とする。

① 得点は下記のとおりとする。

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

② 同順位を共有する場合は、該当得点を折半する。

(例：3 位が 2 人いた場合は 6 点 + 5 点 ÷ 2 人 = 5.5 点)

③ 合計得点が同じ場合は、高順位の多い団体を上位とする。

(2) 走高跳・棒高跳について。

① バーの上げ方は、下記のとおりとする。ただし、事情により変更することがある。

男子	走 高 跳	(練習1.60)	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	以後 3 cm きざみ
		(練習1.75)						
	四種走高跳	(練習1.40)	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	
女子		(練習1.60)	1.70	1.75	1.80	1.85		以後 5 c m きざみ
	棒 高 跳	(練習2.60)						
		(練習3.60)	2.80	3.00	3.20	3.40	3.50	以後 10cm きざみ
		(練習4.00)						
	走 高 跳	(練習1.35)	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	以後 3 cm きざみ
		(練習1.45)						
	四種走高跳	(練習1.20)	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	
		(練習1.35)	1.50	1.55	1.60			以後 5 c m きざみ

② 1 位決定のためのバーの上げ方は、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

③ 練習については各ビットで申告し、選択した高さで練習を行う。

④ 四種競技において、最初の高さを失敗した競技者の得点は 0 点とする。

## 6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各県で配布されたものをユニフォームの胸・背部に確実に結着する。ただし、跳躍種目の競技者は、背または胸の片側につけるだけでもよい。
- (2) トラック種目に出場する競技者は、腰ナンバー標識をランニングパンツ右側の上部やや後方につける。なお、腰ナンバー標識のナンバーはレーンナンバーとする。
- (3) 腰ナンバー標識は各県で準備すること。

## 7 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポールを除きすべて主催者が用意したものを使用する。

## 8 表彰について

- (1) 団体対抗は 3 位まで表彰し賞状を授与する。優勝団体には優勝杯を授与する。
- (2) 個人（リレーを含む）は 8 位まで表彰し賞状を授与する。1 位にはメダルを授与する。リレーはエントリー競技者 6 名にも個人賞状を授与する。
- (3) 各種目の 8 位までの入賞者は、競技終了後ただちに表彰控え場所に集合すること。ただし、リレーの決勝に出場する競技者には代理人を認める。

## 9 その他

- (1) 競技者は、その競技をする以外は、トラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (2) テントは、補助競技場の芝生スタンドのみの設置とする。本競技場及び周辺の公園内のテント設営は禁止する。
- (3) 各団体・各県の横断幕やのぼりは、サイド及びバックスタンドの 2 段目以降の手すりに設置にしてもよい。設置する際には、通路や観覧席をふさがないようにする。
- (4) スタジアム内のシート・横断幕・のぼり等についての設置の際に、ガムテープの使用を禁止する。（養生テープは使用可）